

品川寺(ほんせんじ) 東京都品川区南品川3丁目5-17

真言宗醍醐派の別格本山で大同年間(806~10)開創と伝えられる品川区で最も古いお寺です。本尊は水月観音(非公開)。東海七福神の毘沙門天を祀っています。

銅造地藏菩薩坐像は「江戸六地藏」の一つで神田の鋳物師 太田駿河守正義の作。東京都有形文化財に指定されています。

大梵鐘は「洋行帰りの鐘」と呼ばれています。梵鐘は慶応3年(1867)パリ万国博覧会出品後に行方不明となりましたが、スイス・ジュネーヴで発見され、60余年を経て昭和5年(1930)に里帰りを果たしました。



山門



六地藏の1つ



本殿



本殿の格天井



梵鐘





鬼瓦



亀の上の灯籠